

教習項目

2

応急救護処置 I



教習項目

3

応急救護処置 II



「おうきゅうきゅうごしよち応急救護処置」
を使用します。

教習項目

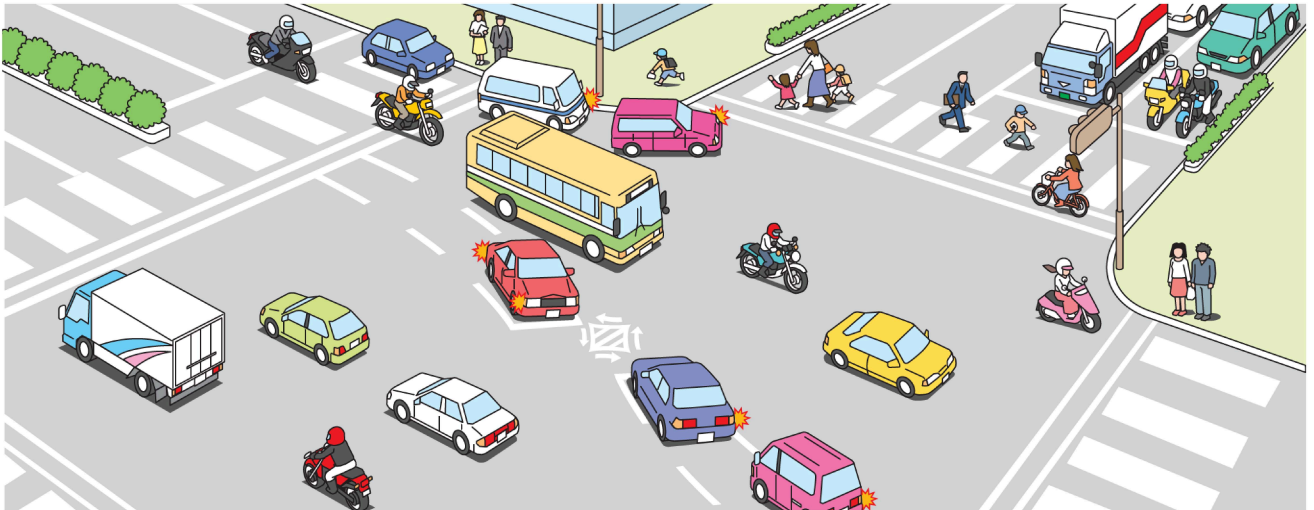
4

死角と運転



道路は、多くの人や車が通行する混合交通の場です。

安全運転をするためには、正しい運転操作を身につけたり、交通法規を守って運転することはもちろんですが、そのときどきの交通状況を的確に判断して、どのような危険があるかを予測し、それに基づく具体的な対応を講じながら、より安全な運転をするようにしなければなりません。

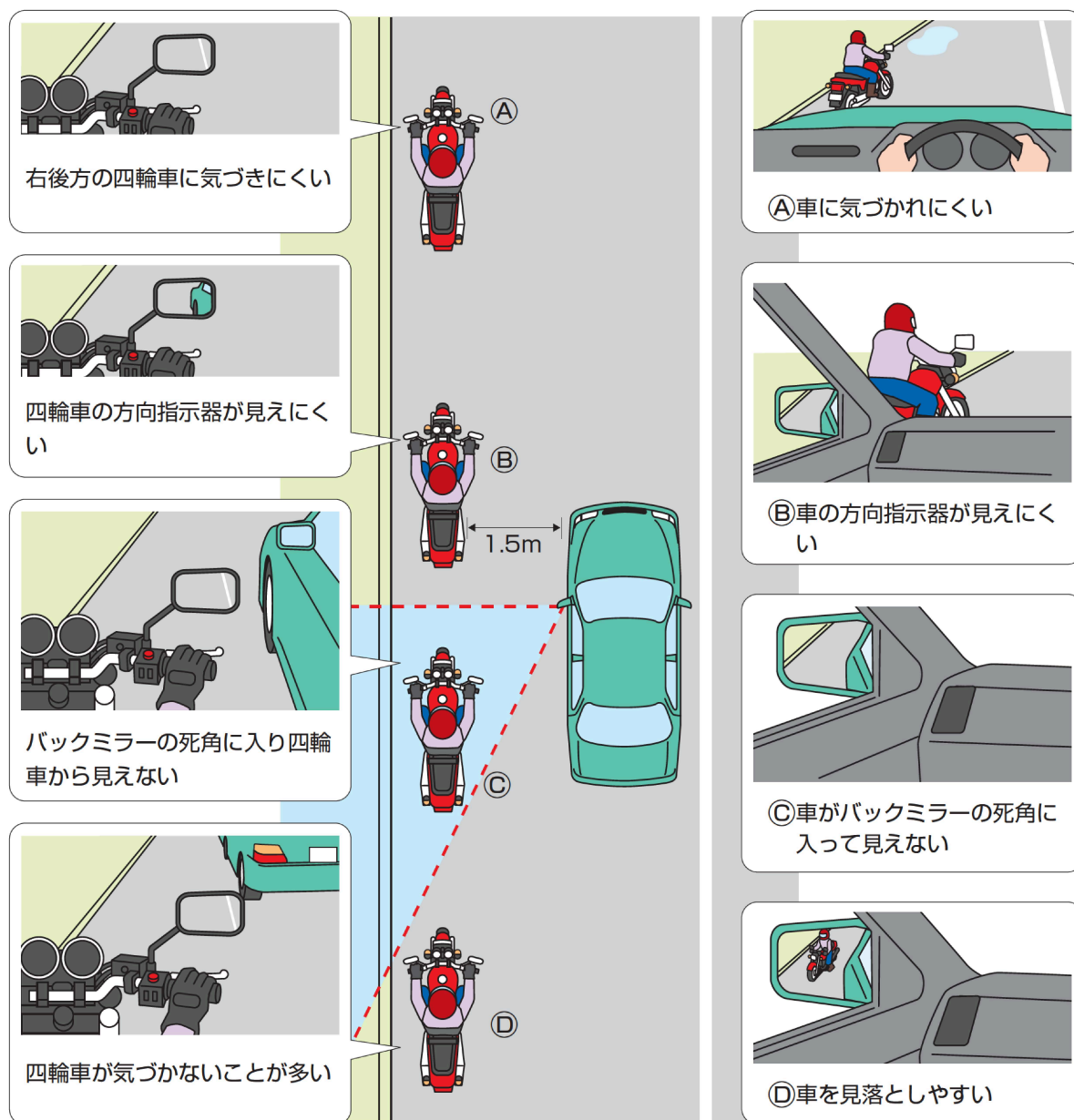


① 二輪車から、四輪車からの見え方

交通事故の中には、二輪車と四輪車が衝突することによって発生する事故が少なくありません。このような事故を防止するためには、四輪運転者から二輪車が、二輪運転者から四輪車がどのように見えているかを理解しておくことが大切です。

四輪運転者は、車体の小さい二輪車を軽視する傾向があります。そのため、二輪車を自転車と同じような速度で走行するものと見たり、見落とししたりしてしまふことがあります。

また、二輪車と四輪車が次のような位置関係にあるときは、二輪運転者から四輪車が、四輪運転者から二輪車が見えなかったり、動きを予測できなかったりすることがあります。



二輪運転者の注意点

二輪車を運転するときは、次の点に注意しましょう。

- ① 四輪車の死角に入らないようにします。
- ② 必要な距離を確保するなど、四輪運転者が気づきやすい位置を走行します。
- ③ 右後方の交通状況を十分確かめます。

四輪運転者の注意点

四輪車を運転するときは、次の点に注意しましょう。

- ① 二輪車も四輪車と同じく簡単には停止できません。自転車と同じように考えないようにしましょう。
- ② 二輪車は死角に入りやすく、その存在に気づきにくいので、進路変更などをするときには十分安全を確認します。
- ③ 二輪車は速度が遅く感じたり、距離が実際より遠くに見えたりします。

② 死角の事例

実際の道路交通には、死角となっているところが数多くあります。

無事故運転者は、死角となっているところに危険がないかを探り、常に慎重な運転をしています。

しかし、事故を起こした運転者の言いわけを聞くと、

- ① 駐車車両の影に歩行者がいるとは思わなかった。
- ② カーブで対向車があるとは思わなかった。
- ③ 交差点で右方から車がくるとは思わなかった。

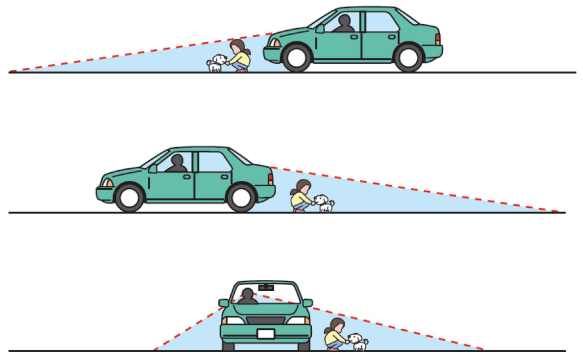
など、死角にある危険を予測せず、先入観でほかの交通はないものと自分勝手な判断をしています。視野に入らない交通及び今見えていない交通にも注意を向け、本当に予測すべき交通がないのか十分に確認することが大切です。

それでは、どのようなところに死角があるのか、いくつかの例を考えてみましょう。

① 自動車自体の死角

すべての自動車には、範囲の差はあるものの、その自動車自体の構造からくる死角の部分があります。死角を補うものとして、道路運送車両の保安基準では、バックミラーやアンダーミラーの取り付けが義務づけられていますので、周囲の状況に目を配りましょう。

◆自動車の死角



「アンダーミラー」とは、

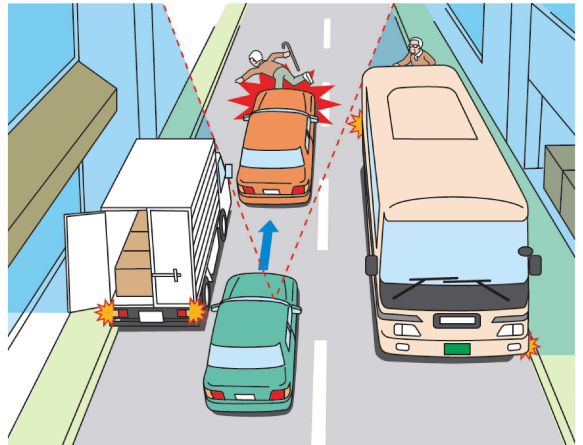
大型の自動車の運転席の死角となる自動車の直前部下方、左側下方の確認のためのミラーで、トラックやバスには設置が義務づけられています。

Keyword

② 駐車車両がつくる死角

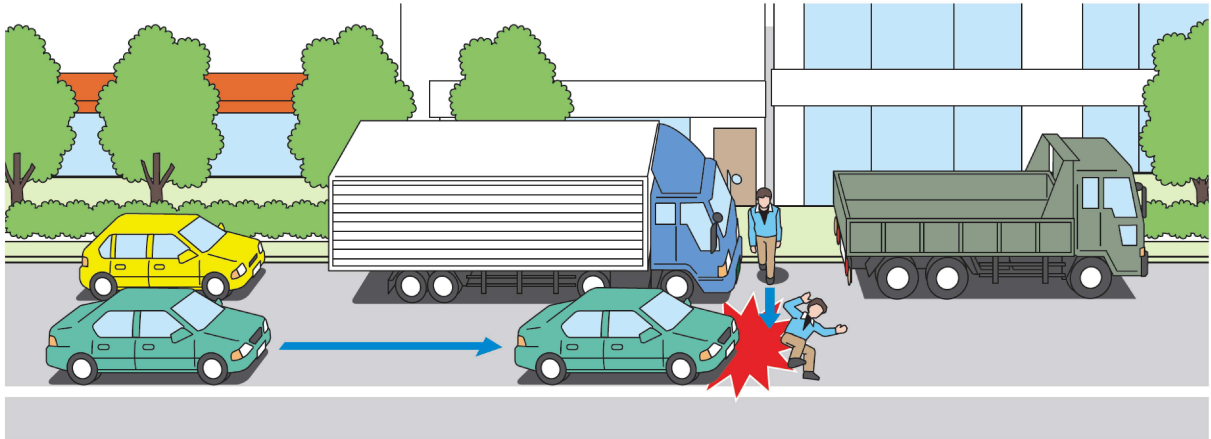
① 両側駐停車車両の死角

駐停車車両には、必ず死角となる部分があります。特に、両側に駐停車車両がある場合は、死角が両側にでき、片側に駐停車車両がある場合に比べ、歩行者などの発見の困難度も高くなりますから、運転者は両側に対し注意をしなければなりません。



2 連続駐停車車両による死角

連続して駐停車車両がある場合、単独で駐停車してある場合に比べ死角となる部分が広範囲で、しかも連続することとなり、危険度も高まります。



3 幼児を見る場合の死角

幼児は身長が低いために、駐停車車両が乗用車であっても死角に入りやすい状況にあります。

◆もしかしら見えなくても……。

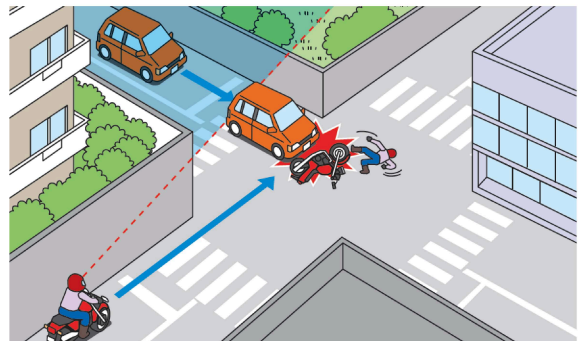


3 交差点での死角

1 左方向の死角

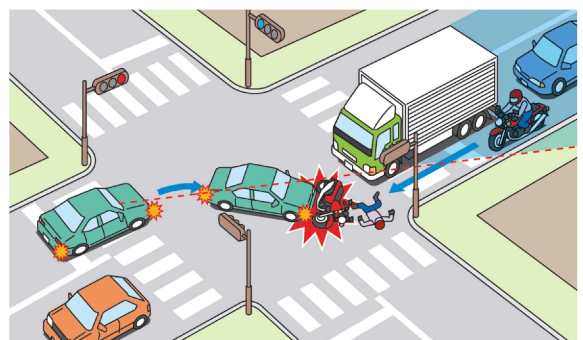
特に、二輪運転者は、左側に寄って走行するため左方向からくる車の発見が遅れやすい状況にあります。

見通しの悪い交差点では、必ず一時停止又は徐行をして、安全を確かめてから進行しましょう。



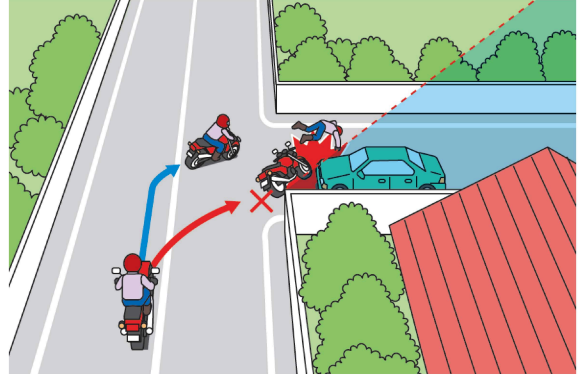
2 右折車の死角

交差点で右折する場合、対向（停止）車のかげに死角ができ、死角の中にある二輪車に気づかない場合があります。



3 ショートカット走行による死角

交差点を右折する場合、**ショートカット走行**をすると、右方向の死角を大きくし、危険性が高くなります。

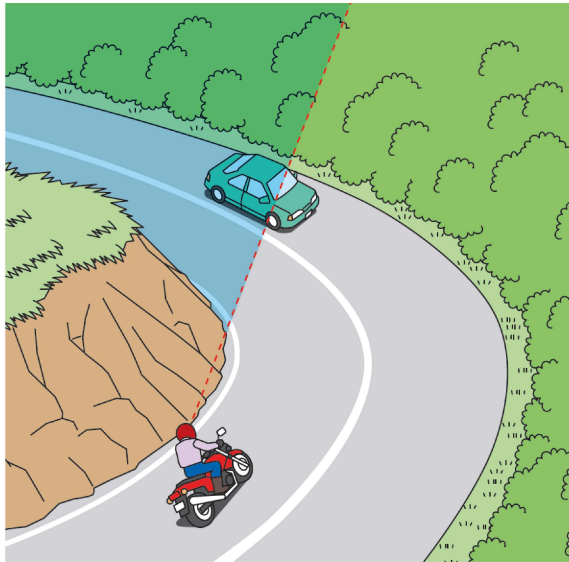


4 カーブがつくる死角

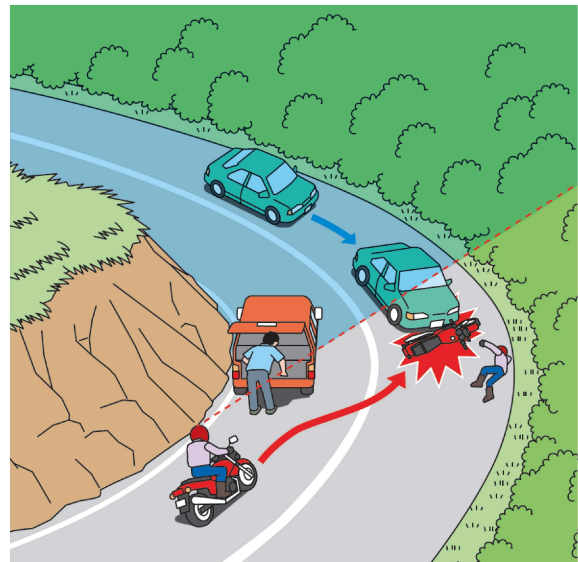
見通しの悪いカーブほど死角部分が広範囲になります。

また、同じカーブでも障害物があるかどうかで死角の範囲が異なります。

◆カーブで障害物がない場合



◆カーブで障害物のある場合



3 防衛的運転方法

事故を起こさない運転をすることは運転者として当然のことですが、危険の少ない運転行動を選んで「事故に遭わない」運転を心がけることも事故を防ぐ観点から大切なことです。

1 危険に備えた速度

事故の多くは、速度の出し過ぎに起因しています。

速度の出し過ぎは、万が一危険が発生した場合、回避できるものも回避できなくなるおそれがあります。安全な速度で走行し、危険に備えた運転を行いましょう。

2 適切な走行ポジション

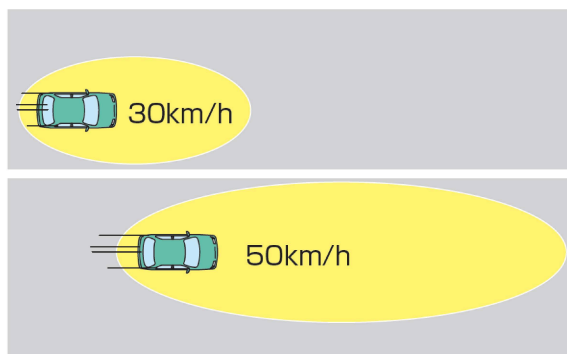
事故を起こさないためには、車両、人とらえやすい走行位置を選ぶことが大切です。

また、事故に遭わないためには、

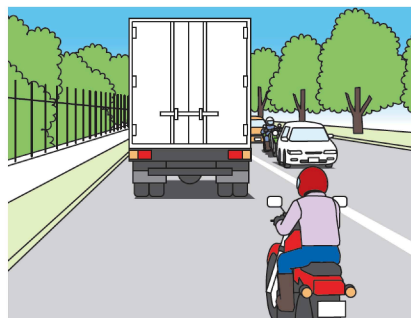
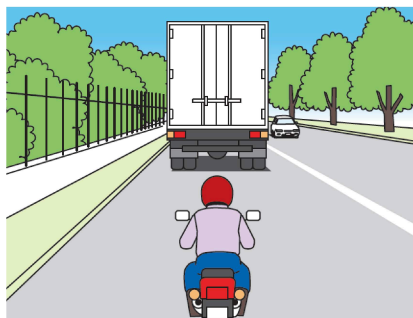
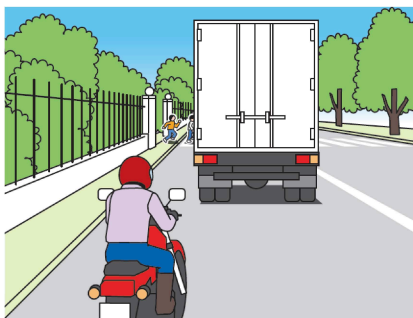
- ほかの車両の死角に入らない。
- 相手から見やすい。
- 万が一危険な状況になっても回避できる。

など、適切な走行ポジションをとることが大切です。

◆速度によってお互いの安全確認空間が変わります



◆危険をとらえやすい走行ポジションはどれでしょう？



4 車両間の意思疎通の方法

車両間の意思疎通は、交通の安全と快適な運転をするうえで極めて重要です。

可能なかぎり、意思を伝えることが大切です。

必ずしも行わなければならないものではありませんが、車両に備えつけてある装置を使って、実際に以下の方法で車両間の意思疎通が図られていることを紹介します。

これらは、決められた方法ではなく、状況により意味が違ってきますので、周囲の状況を踏まえて、パッシングなどをしてきた他車が次にどのような行動をとろうとしているのか、見定める必要があります。

1 交差点でのパッシング

右折待ちの車両に対し、「お先にどうぞ」という意味を示すために、対向直進車が減速し、あるいは停止して、パッシングをすることがあります。

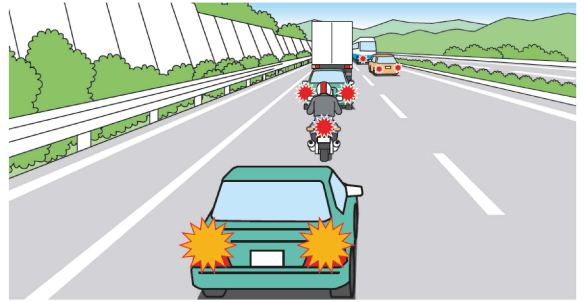
単にパッシングをした場合は、「自分が先に行くから進行するな」という意味を持っていることがあります。

パッシングは、ほかの運転者への誤解やとまどいを生じる可能性もあるので、行うときには注意をしましょう。



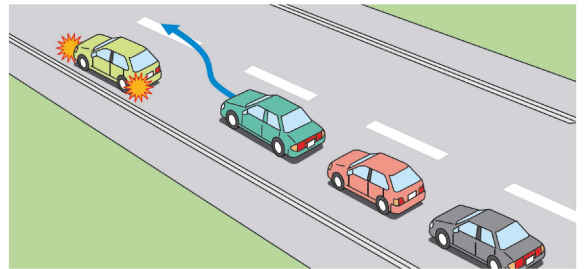
2 ハザードランプの点灯

- ① 高速道路などで渋滞中であることを後続車両に知らせる場合、ハザードランプを点灯させることがあります。
- ② 渋滞中に、自車の前に車を入れてあげた場合、前に入れてもらった車が感謝の気持ちを表すためにハザードランプを点灯させることがあります。



3 単路でのウィンカー

直線道路で前車がウィンカーを出し、速度を落とし左側に寄った場合は、「追い越し(追い抜き)てください」という意味を表していることがあります。確実に確認して走行する必要があります。

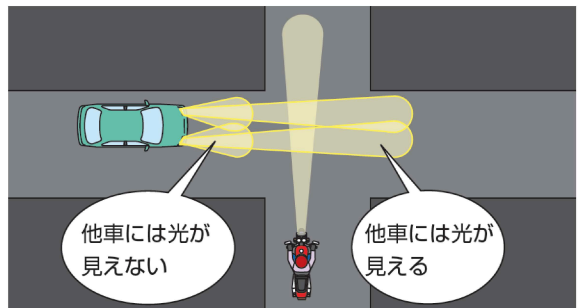


4 前照灯の切り替え

夜間などの暗いときに、信号機のない交差点付近を通過する際、自車の存在を他車に認識してもらうため、**低速にしながら**前照灯の上下の切り替えを行うことがあります。

また、狭い道で対向車に道を譲る場合に、消灯することがあります。

場所や状況に応じて対応するようにしましょう。



セーフティエチケット

後続車へ先を譲る

車の走行速度はさまざまですが、走行中に自車の後方で何台も重なってしまう場合があるかもしれません。そのようなときは、後続車に先を譲ることも大切です。

後続車からのプレッシャーで無理をして速度を上げるよりも、先を譲り、自分にあったペースの運転を心掛きましょう。

ためしてみよう!

○×問題

正しいと判断したときは○の欄、まちがっていると判断したときは×の欄に✓印をつけてください。

問1 交差点での右折は、対向車線を直進してくる車両の発見が遅れやすい。

○	×
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問2 二輪車で走行するときは、四輪車の死角に入らないよう走行に注意する。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------

▶ 解答と解説は、270 ページにあります。◀